

# 村岡新駅周辺地区まちづくりニュース

## 第5回／第6回 地元地権者会議を開催しました!

今回の「まちづくりニュース」では、2015年12月15日及び、2016年7月15日村岡新駅周辺地区第5回及び6回地元地権者会議の開催状況についてお伝えします。

### 【第5回開催概要】

日時：2015年12月15日(火) 10:00～11:00

場所：宮前町内会館

内容：

- ・村岡新駅周辺地区のまちづくりのこれまでの取り組み状況、現状、今後の取り組みについて説明し、ご意見を伺いました。
- ・まちづくりイメージ映像をお示ししました。

### 【村岡地区のまちづくりイメージ映像】



視点場から広場を見た様子

### 《主なご意見》

・話がでてから30年位になる。地権者は困っている。あきらめてやめることはないのか。

⇒ (回答) 駅舎に100億円以上かかる。新駅を設置するための検討会(神奈川県、鎌倉市、藤沢市)を5回ほど行い、負担割合等について具体的な話をしている。

・駅ができると一番得するのは鎌倉市。鎌倉市の協力が得られないのなら、一緒に進めるのはやめたほうが良い。村岡のまちづくりが深沢のまちづくりになっている。

⇒ (回答) 鎌倉市と連携して進めることで、6万人以上の駅利用者数が確保され、JRに駅設置を求められる。また、両市が連携することで県に駅整備費用の負担が求められる。

・駅自体の経費を削減してコンパクトにすることはできないか。

⇒ (回答) 検討は現在行っているが、オリンピックと重なる時期に着工した場合、資材や用地の費用が上がる可能性がある。例えば、駅をコンパクトにして1割コストを下げても建設費の高騰で1.5割上昇するなど、結果的にコストが上昇の可能性が懸念される。

・駅ができない場合には、この地区はどのようになるのか。

⇒ (回答) 駅とまちづくりの両面で進めていきたいと考えている。実際に、公民館を駅とは別に建て替えたいという要望もある。

